

## 「つながり」の多様性

私たちの人生は、さまざまな「つながり」の連続です。

家族が同じ空間ですっと一緒に過ごす時期もあれば、互いの気配を感じながら思い思いに過ごす時期もあります。

それは日常も同じこと。今日は久しぶりに友人を迎えるから大人だけでゆったり、季節の行事だからお客様も子どもたちも一緒に賑やかに……など、常に目的に合わせて家族や夫婦のつながり方を選んでいくといえるでしょう。

じつはその時々、心地良く過ごせるかどうかは、空間の力が大きいもの。どうつながりたいかによって、ふさわしい空間は異なるからです。

そこで今号では、集合住宅における「可変性」について採り上げました。大がかりなりフォームを計画しなくても、

建築的な工夫によって家族はここまで多様なつながり方を持つことができます。

「グランドメゾン千里中央東丘」の洋室。『可動間仕切り収納』によって、手前の空間をきょうだいふたりの学習室、奥を共有のベッドルームとしてゆるやかに仕切っています。いずれ子どもたちが成長すればクローゼットを動かし、2つの個室に変更することができます。